

様式第十八の四（第11条の3第3項関係）

認定事業適応計画の概要の公表

1. 認定の日付

令和6年12月12日

2. 認定事業適応事業者の名称

横須賀生コンクリート株式会社

3. 認定事業適応計画の内容

（1）事業適応に係る事業の目標

カーボンニュートラルは、昨今の地球温暖化に対する対策として喫緊の課題であり、生コンクリート業界も例外ではない。

我が社においてはコンプレッサーを省エネルギータイプのものに替えてCO₂を減少させていくことで付加価値の創出と環境への負荷低減を両立させていく。

（2）その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

2024年度より事業適応を開始し、2025年度（計画終了年度）までに炭素生産性を39.6%向上することを目標とする。

（3）財務内容の健全性の向上を示す目標

2025年度（計画終了年度）に経常利益を計上することを目標とする。

（4）事業適応の類型

エネルギー利用環境負荷低減事業適応

（5）計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード）

生コンクリート製造業（2122）

計画の対象となる事業は主に生コンクリートを製造するものであるため。

（6）事業適応の具体的内容

計画初年度では、本社工場に省エネ性能に優れたコンプレッサー（インバーター機）に更新することで、CO₂排出量を年間0.8t/CO₂削減し、炭素生産性を17.6%向上させていく。

目標年度には年間10.1t/CO₂削減し、炭素生産性を39.6%向上させることを見込む。

(7) 事業適応の開始時期及び終了時期

開始時期：2024年12月

終了時期：2025年12月

(備考)

用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(記載要領)

認定事業適応事業者の事業上の秘密に該当する部分については、これを公表の対象として記載しない。